

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-4	政策名	スポーツの振興	政策の 目指す姿	いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、元気に活動しています	施策 主管課	スポーツ振興課	施策主管 課長名	鈴木直明
	施策No.	3	施策名	大規模スポーツ大会の開催	施策の 目指す姿	スポーツ交流が拡大し、スポーツへの関心が高まっています	関係課名			
	現状と課題 ・大規模スポーツ大会やイベントの入込者数は増加しているが、大会や合宿の誘致件数は横ばいの状態です。									

◎ 前年度の評価の振り返り

（前年度評価時の今後の方向性）

・大規模スポーツ大会の開催に当たっては、前年若しくは前前年に会場を確保・決定し準備を進める例が多くを占めることから、継続した取り組みが重要であり、いわてスポーツコミッションや岩手県（県南広域振興局）と連携した広域的な誘致活動を進める。

（反映状況）

・各競技団体が主催する大規模大会開催を推進しながら、いわてスポーツコミッションとも連携しながら誘致活動を進めた。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) スポーツイベント・大規模大会の誘致

○はなまきスポーツコンベンションビューローを核としたスポーツ大会の誘致と開催支援
 ・はなまきスポーツコンベンションビューローが実施する、積極的な情報発信や各種大会の誘致活動に対する支援

(2) 合宿の誘致

○「東京オリンピック事前合宿」を含む合宿の誘致推進
 ・はなまきスポーツコンベンションビューローが実施する、合宿の誘致活動に対する支援
 ○広域的な連携による合宿の誘致推進
 ・いわてスポーツコミッションや岩手県（県南広域振興局）と連携した誘致活動の推進、はなまきスポーツコンベンションビューローが実施する、広域的な連携による合宿の誘致活動に対する支援

(3) 大規模スポーツ施設の充実

○大規模大会に対応した施設の計画的な改修
 ・日居城野運動公園、市民プール、スポーツキャンプむら、東和海洋センター、田瀬湖ボート場等の整備

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
大規模スポーツ大会 やイベントの入込者数	スポーツによる交流人口 が拡大し、スポーツ交流 の機会の充実度を示す 指標	市スポーツ振興課が把握 する数値 次のスポーツ大会やイ ベントに係る入込者数 (1)東北規模以上のスポ ーツ大会 (2)1千人以上の入込のあ る県大会 (3)スポーツ興業やスポ ーツイベント	千人	目標値	184	197	275	192	195	198
				実績値	183	218	242	117	134	
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■成果指標「大規模スポーツ大会やイベントの入込者数」・・・【達成度c】</p> <p>平成28年度に希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向けて各競技団体が競技強化のための試合や合宿が行われ、その影響もあって入込者数も増加した。</p> <p>通常大規模大会は、前年若しくは前前年に会場を確保し、開催に向けて準備を進めるが、平成29年度はその準備ができなかったこともあり、大幅に入込者数が減少したが、平成30年度は目標値には届いていないものの幾分持ち直した。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1	スポーツ大会・合宿誘致推進事業 はなまきスポーツコンベンションビューローが実施する、スポーツ大会や合宿誘致の活動に対する支援 (全国規模スポーツ大会誘致件数:7件、スポーツ合宿誘致件数:10件)	スポーツ振興課	一致	直結	C
			A		
3	スポーツ施設環境整備事業 大規模大会に対応した施設の改修 (大規模改修等実施施設数:10施設)	スポーツ振興課	間接・ 少数	間接・ 補完	A
			C		
3	田瀬湖ボート場環境整備事業 事業費 52,082千円 (主な内容:ボート及びボート場用品倉庫新築 41,732千円、トレーニング機器の整備 7,357千円など)	スポーツ振興課	間接・ 少数	間接・ 補完	-
			C		

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
・なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)
・比較的会場確保がしやすい平日を中心に大規模大会や合宿を今後も進めていく。

(新たに取り組むべき事業はないか)
・なし

6 施策の総合的な評価

(課題)
・各競技団体が一堂に会して体育館利用調整会議を毎年9月と2月に開催し、1～2年後の大規模大会の会場確保しており、多くは土日や祝日の大会が主である。
調整会議後の大規模大会開催や合宿誘致の土日祝日の会場確保が難しい状況である。

(今後の方向性)
・大規模大会開催や合宿誘致については、市民や各競技団体の会場利用を優先しながら、比較的会場確保がしやすい平日を中心に進めていくこととする。